

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
乳幼児健診問診票等のベトナム語翻訳版作成事業						
事業目的	事業内容	活動指標	H26	H27	H28 H29年3月開始	
ベトナム国籍の保護者が乳幼児健診を受診する時にベトナム語による問診票がなく、通訳者もない状況である。そのため、意思疎通の困難さから内容の理解や記入について様々な食い違いが生じ、健診に長時間を要している。これらのことから、ベトナム国籍の保護者が乳幼児健診を受診する時の負担軽減等を図ることを目的とする。	ベトナム語に翻訳した問診票等を作成する。 内訳は以下の通り。 ①4か月児健診問診票②1歳6か月児健診問診票③3歳児健診問診票④健診の案内通知⑤訪問時の不在連絡票⑥BCG接種後の説明用パネル2種⑦子どもの歯相談室問診票⑧う蝕活動性検査についての案内および結果通知⑨フッ素塗布についての案内文書2種	南区における利用実績	/	/	2	
		他市町村等からの問い合わせ数・新聞や雑誌などからの問い合わせ数	/	/	3	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
◎ 南区には堺市内で2番目に多い1,127人のベトナム国籍の区民が居住され、年々増加している。特に乳幼児健診の対象となる4歳未満児が、南区では堺市全体の約6割を占めている。	△ 乳幼児健診での市民サービスの向上や安全・安心を図ることは、公共団体の責務であることから、保健センターが主体となり業務を行っている。	○ ベトナム語の乳幼児健診問診票等の作成は、政令指定都市では横浜市と神戸市、大阪府下では八尾市のみだった。プレス発表後、他市町村・新聞社からの問い合わせがあり、新聞にも掲載された。また、ベトナム領事館からも喜ばれた。	◎	ベトナム国籍の区民の対応は意思疎通がうまくいかず、所要時間も長時間になっていたが、ベトナム語の乳幼児健診問診票を作成することにより、意思疎通がうまく図れ、時間短縮にもなった。問診票等作成前は、30分程度問診時間が必要だったが、ベトナム語翻訳版問診票を使用することによって、約半分の所要時間に短縮できた。これらのことより、健診への満足度の向上へとつながる。		
⑤自立発展性	総合評価					
△ 乳幼児健診での市民サービスの向上や安全・安心を図ることは、公共団体の責務であることから、保健センターが主体となり業務を行っている。	◎	29年3月に問診票等が完成し事業が開始された。本事業はベトナム国籍在住者の健診受診時の利便性や効率性を高めるほか、日常の保健センターとの関係性や信頼性を高め、外国人も子育てしやすいまち堺をアピールできるものとなる。また、地区活動においても、ベトナム国籍在住者へのアプローチを問診票を利用し積極的にできるようになり、保護者に向けての健康情報の発信や個別相談などへもつながり、健康のレベルアップになる。それらのことは、乳幼児健診の満足度を高めるのみならず、「子育てしやすい・住み続けたいまち堺」につながっていく。				
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">                     拡充 継続 見直し 廃止                 </div>	今回作成したものを活用していく。また、今後必要であれば他の様式についても作成等を検討していく。					